

ピュアフラワー新聞

2015年8月号

— Pure Flower News —

Vol.16

＊ 夜空をいろどる大輪の花

いよいよ夏も本番。夏の風物詩のひとつである花火も、夏のイベントとして盛り上がる時期ですね。これから花火大会に行かれるという方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。

日本の夏を感じさせる花火ですが、実ははじまりはイタリア。もともとは狼煙を起源とし、そこからさまざまなアレンジが加えられて14世紀のイタリアで現在のような鮮やかな花火が打ち上げられたとされています。

また、花火には「玉名(ぎょくめい)」と呼ばれる、種類ごとの名前がつけられています。その姿や名前からお花にたとえられることも多い花火ですが、実際に玉名としてお花の名前が付けられている種類もあるんです。

今回はお花にちなんだ花火の種類を少しだけご紹介します♪
知っている、ちょっぴり物知りに見えるかも？



牡丹

光の点で円を描く姿が華やかな、花火の代表的な種類です。



菊

牡丹に似ていますが、最後にスツと尾を引くのが特徴です。



柳

垂れ下がる姿はまさに柳そのものの。独特の風情が感じられます。



銀冠菊

開いた後に柳のように下がっていきます。一気に打ち上げられるととっても華やかに！

＊ 今月のワンポイントレッスン

夏場は切り花の持ちも悪くなりがちな時期。いつも以上にお手入れが大切です。そこで今回は、夏場を乗り切るための栄養剤「クリザール」の上手な使い方についてご紹介します。「クリザール」は、プロの花屋さんもお墨付きのお花用の栄養剤です。花の栄養が入っているのはもちろん、水を腐らせない成分も入っているので、毎日ふつうの水を取り換えるよりも、クリザールを入れた水を2～3日に1回取り換えることで、より長持ちさせることができます♪
ただし…クリザールを入れたからといっても、夏場の油断は禁物です！
水の量と色(水が腐っていないか)にはきちんと気を配って下さいね。



使い方・お手入れ方法

- (1) 水を替えるときは、必ず茎を切って、切り口を新しくしてください。
- (2) クリザールを用意し、パッケージの表記通りの量(50倍希釈)の水に入れます。
※キャップの裏と表で5ml、10ml、20mlを計ることができます。
- (3) 2～3日に1回を目安に取り換えます。(あくまで目安ですので、毎日水の状態はチェックしてください。)

＊ 次号休刊のお知らせ ＊ 誠に勝手ながら、9月号は休刊とさせていただきます。